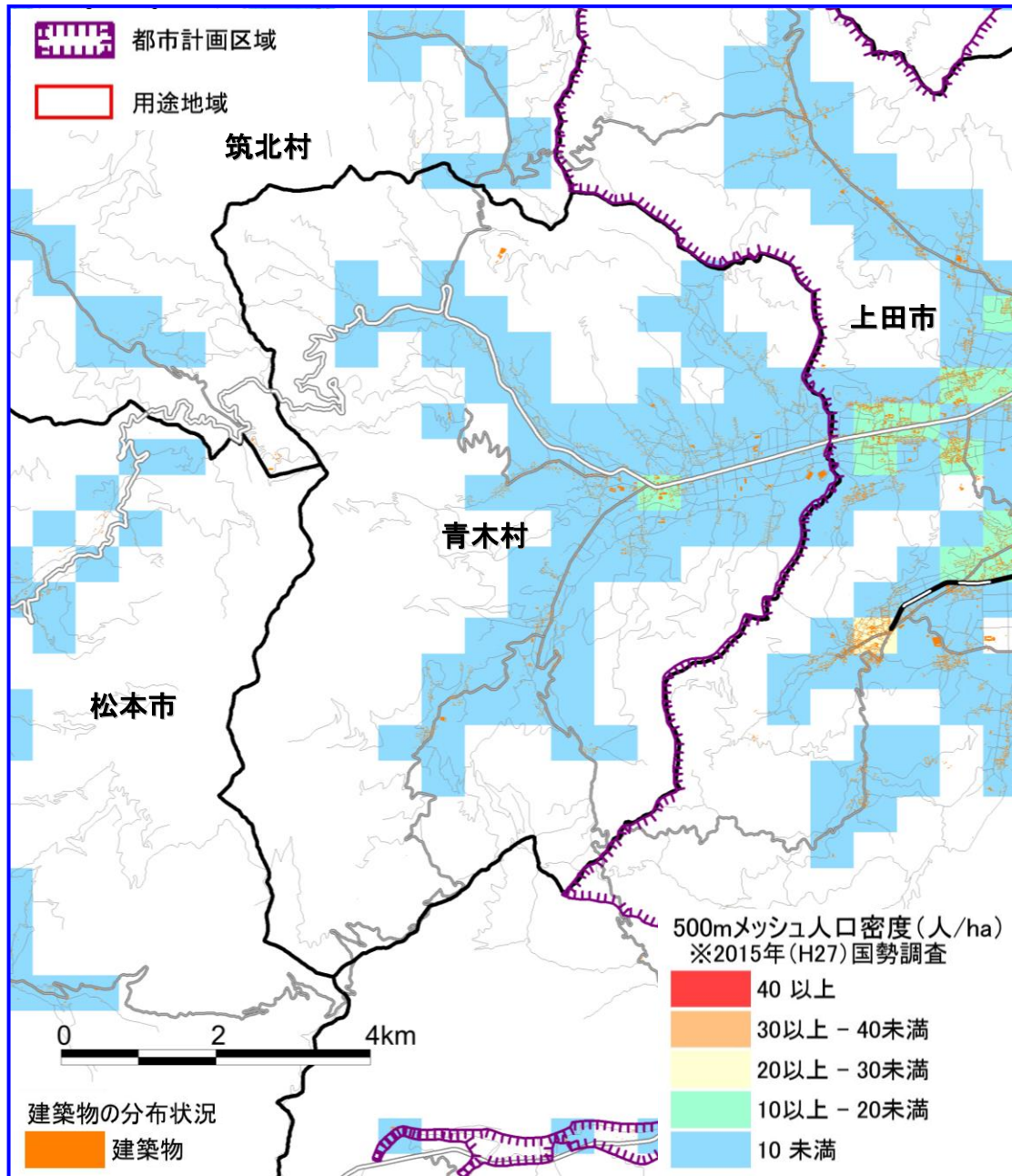
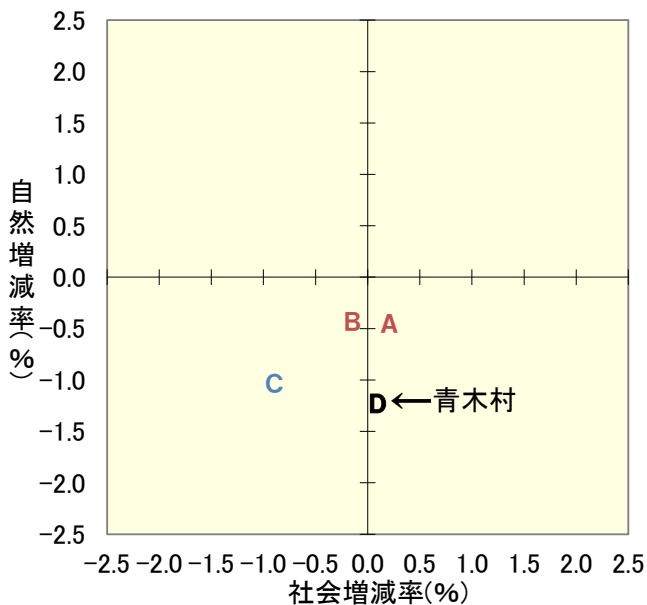


青木村の人口動態等
(参考資料)



青木村の人口密度の状況 (500mメッシュ人口密度_H27)

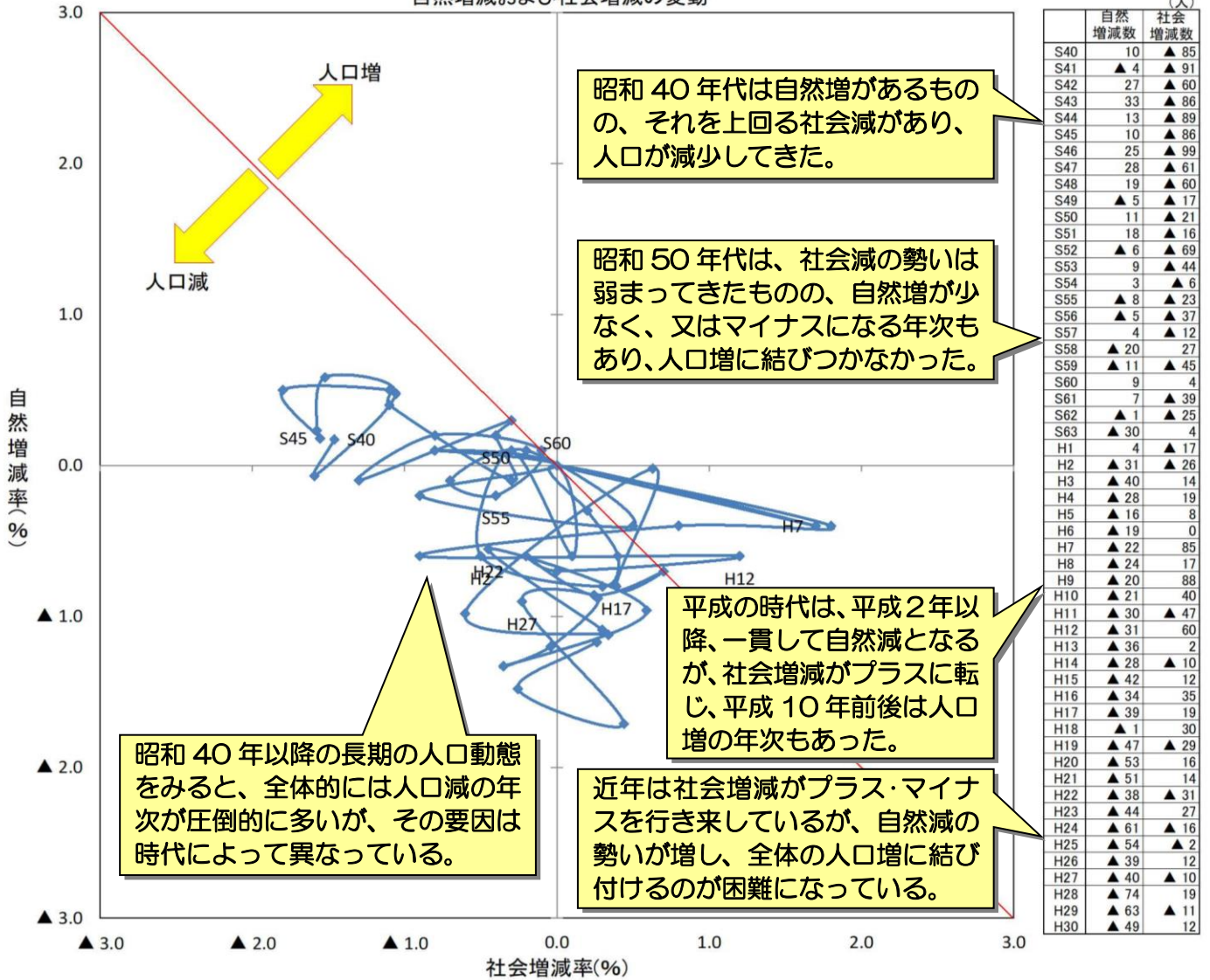


市町村	H30 人口	過去5か年(H26-H30)平均		
		全体増減	自然増減	社会増減
A 上田市	155,323	▲ 0.36	▲ 0.45	0.21
B 東御市	29,561	▲ 0.60	▲ 0.43	▲ 0.14
C 長和町	5,847	▲ 1.96	▲ 1.03	▲ 0.89
D 青木村	4,154	▲ 1.13	▲ 1.23	0.10

上田地域の自治体におけるこの5年間の平均の人口増減率をみると、全体的には人口減少が進むなかで、社会的には、上田市とともに青木村はプラスとなっている。その一方で、自然増減はマイナスで、その減少率は上田地域の自治体のなかでは最も高い。

青木村の人口動態その1 (近隣自治体との比較_H26-H30)

自然増減および社会増減の変動



	自然増減数	社会増減数
S40	▲ 10	▲ 85
S41	▲ 4	▲ 91
S42	▲ 27	▲ 60
S43	▲ 33	▲ 86
S44	▲ 13	▲ 89
S45	▲ 10	▲ 86
S46	▲ 25	▲ 99
S47	▲ 28	▲ 61
S48	▲ 19	▲ 60
S49	▲ 5	▲ 17
S50	▲ 11	▲ 21
S51	▲ 18	▲ 16
S52	▲ 6	▲ 69
S53	▲ 9	▲ 44
S54	▲ 3	▲ 6
S55	▲ 8	▲ 23
S56	▲ 5	▲ 37
S57	▲ 4	▲ 12
S58	▲ 20	▲ 27
S59	▲ 11	▲ 45
S60	▲ 9	▲ 4
S61	▲ 7	▲ 39
S62	▲ 1	▲ 25
S63	▲ 30	▲ 4
H1	▲ 4	▲ 17
H2	▲ 31	▲ 26
H3	▲ 40	▲ 14
H4	▲ 28	▲ 19
H5	▲ 16	▲ 8
H6	▲ 19	▲ 0
H7	▲ 22	▲ 85
H8	▲ 24	▲ 17
H9	▲ 20	▲ 88
H10	▲ 21	▲ 40
H11	▲ 30	▲ 47
H12	▲ 31	▲ 60
H13	▲ 36	▲ 2
H14	▲ 28	▲ 10
H15	▲ 42	▲ 12
H16	▲ 34	▲ 35
H17	▲ 39	▲ 19
H18	▲ 1	▲ 30
H19	▲ 47	▲ 29
H20	▲ 53	▲ 16
H21	▲ 51	▲ 14
H22	▲ 38	▲ 31
H23	▲ 44	▲ 27
H24	▲ 61	▲ 16
H25	▲ 54	▲ 2
H26	▲ 39	▲ 12
H27	▲ 40	▲ 10
H28	▲ 74	▲ 19
H29	▲ 63	▲ 11
H30	▲ 49	▲ 12

昭和 40 年以降の長期の人口動態をみると、全体的には人口減の年次が圧倒的に多いが、その要因は時代によって異なっている。

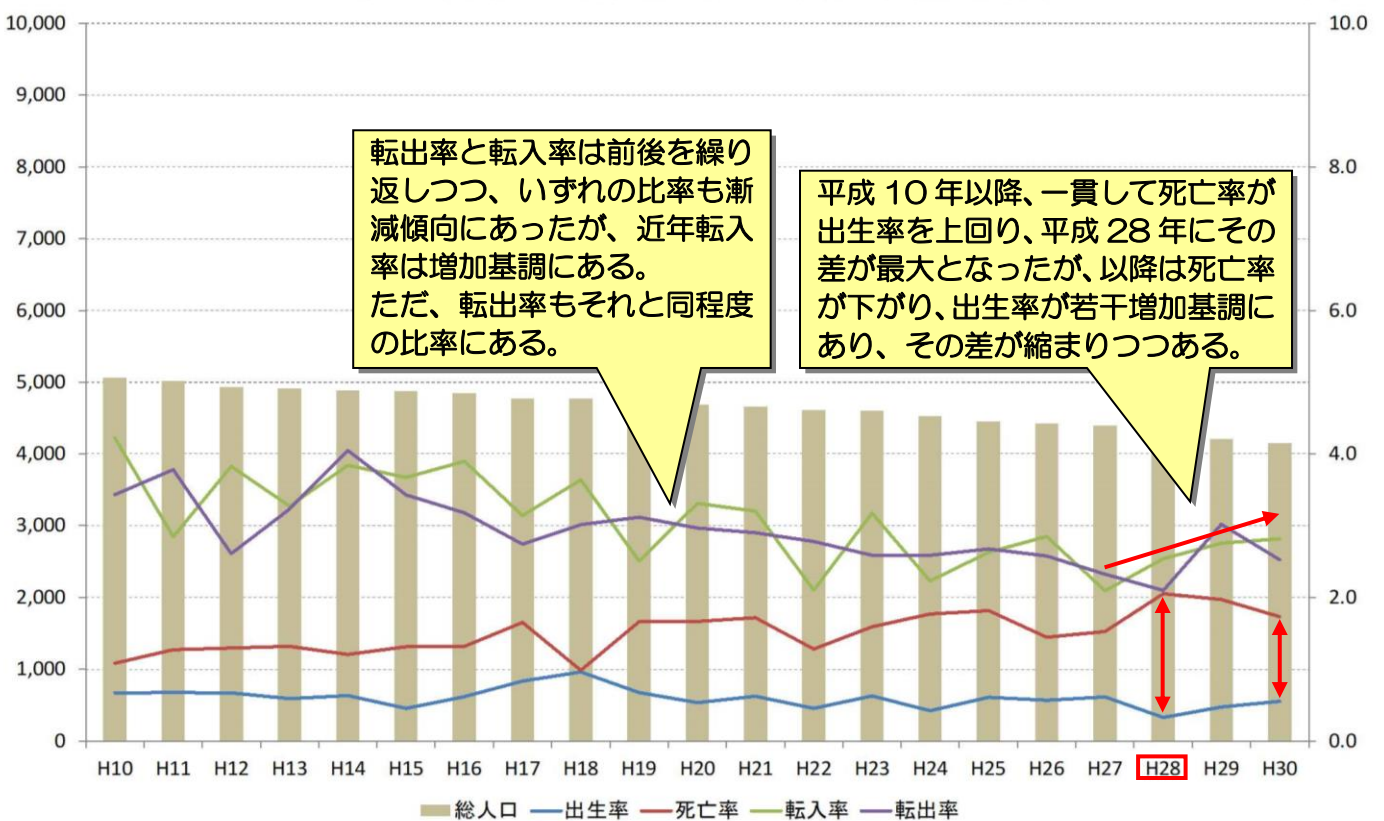
昭和 40 年代は自然増があるものの、それを上回る社会減があり、人口が減少してきた。

昭和 50 年代は、社会減の勢いは弱まってきたものの、自然増が少なく、又はマイナスになる年次もあり、人口増に結びつかなかった。

平成の時代は、平成 2 年以降、一貫して自然減となるが、社会増減がプラスに転じ、平成 10 年前後は人口増の年次もあった。

近年は社会増減がプラス・マイナスを行き来しているが、自然減の勢いが増し、全体の人口増に結び付けるのが困難になっている。

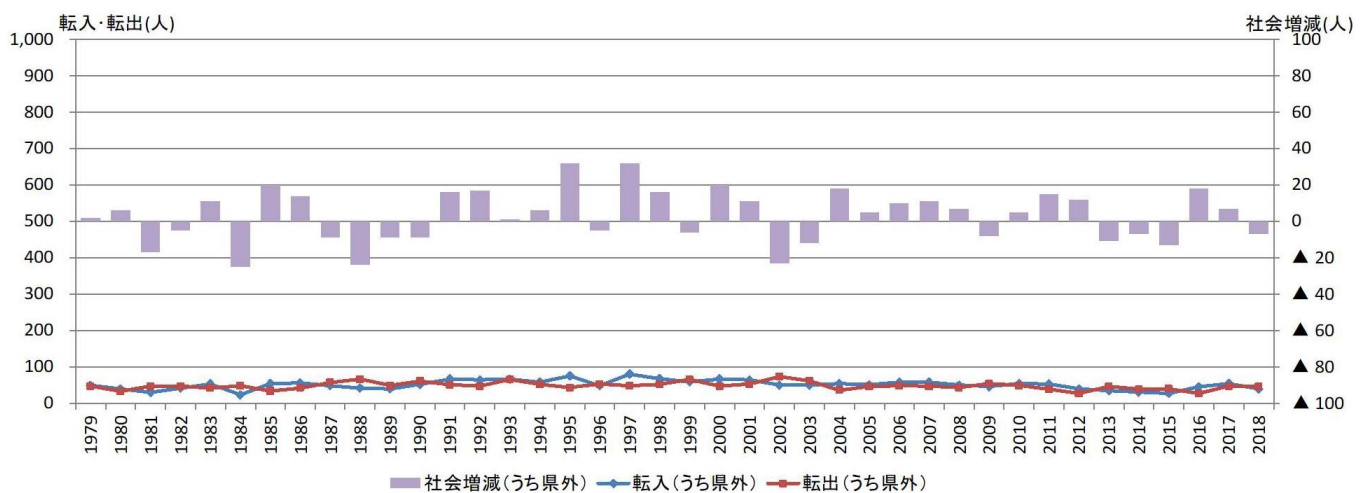
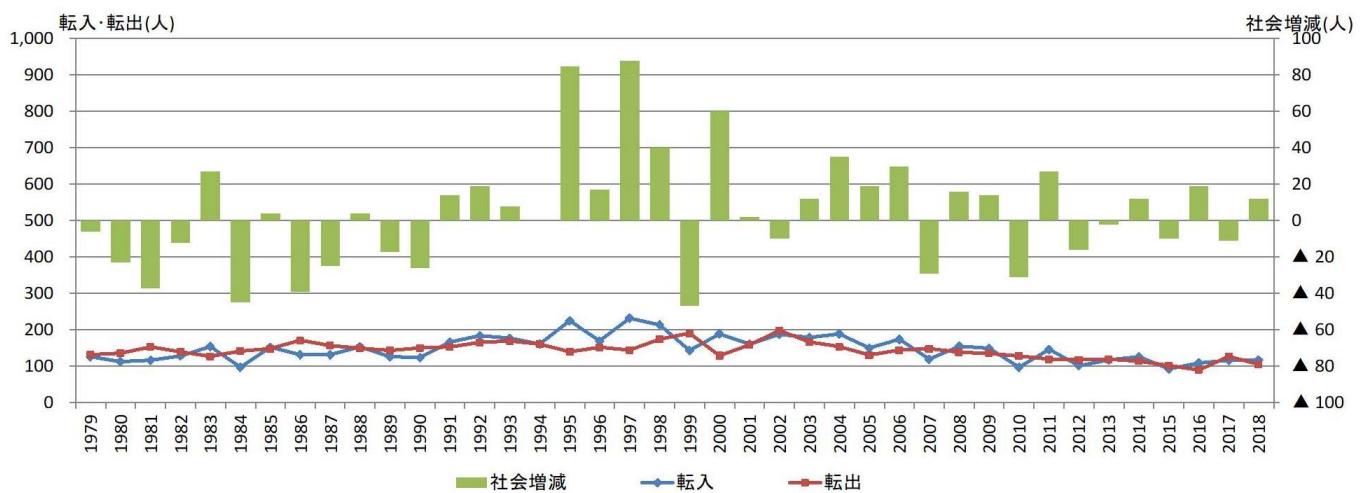
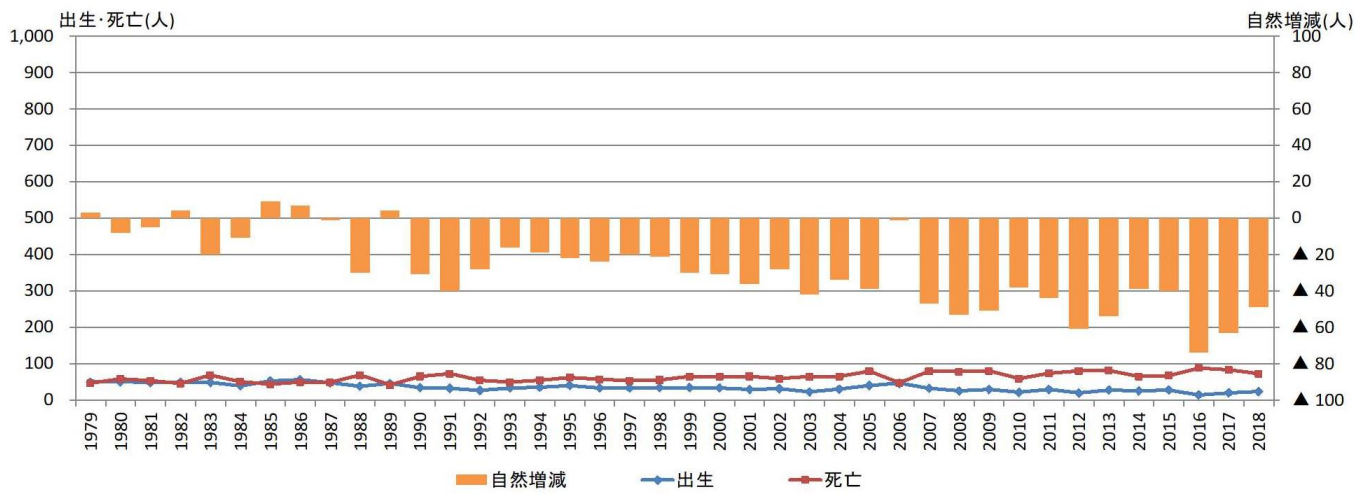
総人口及び総人口に対する出生率・死亡率・転入率・転出率の推移



転出率と転入率は前後を繰り返しつつ、いずれの比率も漸減傾向にあったが、近年転入率は増加基調にある。ただ、転出率もそれと同程度の比率にある。

平成 10 年以降、一貫して死亡率が出生率を上回り、平成 28 年にその差が最大となったが、以降は死亡率が下がり、出生率が若干増加基調にあり、その差が縮まりつつある。

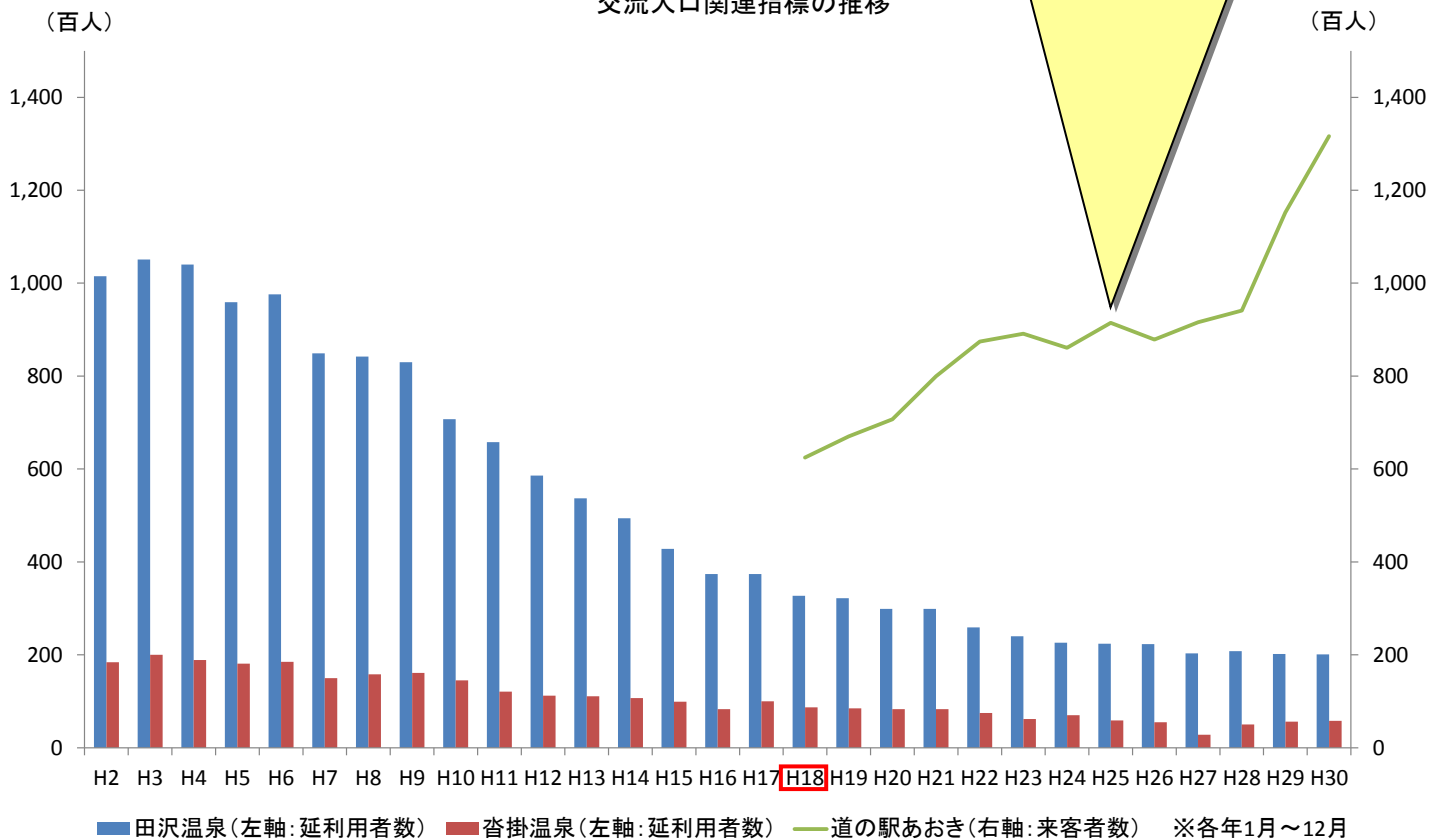
青木村の人口動態その 2 (自然増減・社会増減の推移_上図 : S40-H30 下図 : H10-H30)



青木村の人口動態その3 (自然増減・社会増減の推移_S56 (1979) -H30 (2018))

平成の時代に入ってから田沢・沓掛の温泉を資源とした観光地延利用者数は、平成3年をピークに大きく減少し、近年下げ止まっているものの、ピーク時の1/5程度にまで落ち込んでいる。他方、平成18年以降は、道の駅あおきへの来客者数が右肩上がり増加し、リニューアルされた平成29年以降はさらに飛躍した増加がみられる。道の駅への来訪者は必ずしも交流人口として捉えることはできないが、ここ数年は、観光地延利用者数の減少にも歯止めがかかっており、道の駅が村内への来訪拠点としても機能し始めている様子が伺える。

交流人口関連指標の推移



青木村の交流人口（観光地延利用者数、道の駅あおき来客者数）の動態
_H2 (1990) -H30 (2018)